

仇討からす（1934）

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1934/03/20

公開情報 松竹キネマ

【解説】

松竹キネマ配給のトーキー映画で、シナリオライターの島津保次郎の原案をアニメ化したナンセンス・ギャグもの。監督は「日本のアニメーションの父」と称される政岡憲三が担当。なお、本作は元々2巻ものの中編として製作されたが、配給元の松竹側の都合により、前編『仇討からす』、後編『ギャングと踊子』の2作品に分けて公開されることとなった。なお本作は政岡の弟子で、作画スピードが非常に速かった瀬尾光世が作画の8割を担当したといわれている。

【クレジット】

監督 政岡憲三

製作 城戸四郎

原作 島津保次郎

撮影 木村角山